

市政を問う

一般質問

一般質問とは

議員が、市の行政全般にわたり、執行状況や将来の方針などを質問したり、政策提言を行うもので、定例会のみ行われます。質問時間は、答弁時間を含め、議員1名につき90分以内で、時間内であれば何回でも質問できます。



市内公共交通について

札野章俊 議員

議員 コミュニティバスの今後の運行対策についてお聞きします。

都市整備部長 現在、既存の公共交通機関の影響を考慮しながら、AIオンデマンド交通の実証実験に向け、運行エリアや運行時期等について検討しており、公共交通ネットワーク全体の最適化に取り組んでまいります。

議員 龍ヶ崎市の近隣に大規模な農業法人を誘致するならば早急に龍ヶ崎市停車場線の4車線化を推進すべきと考えます。

都市整備部長 市も、施設立地等に伴い、当該道路交通への支障が見込まれると判断した際には、茨城県に対し、4車線化について要望したいと考えます。

議員 市の奨学金返還支援制度の認識についてお伺いをいたします。

市長公室長 奨学金の代理返還制度が変更され、企

「道の駅整備事業の再検証」年間利用者80万人、市民の疑問を問う

金剛寺 博 議員

議員 前回の報告書での70万人でも、疑問があるのに、今回も同じ手法で80万人と増加させたことは、市民の疑問に答える再検証ではありません。市の見解を求めました。

市長公室長 今回の調査も面前交通量と八フモデルの二手法で算出した。周辺立地の影響を具体的に算出する算式がない。

議員 指定管理者の納付金、建設費償還、大規模修

化学物質過敏症に対する、市民への注意喚起を求める

議員 化学物質過敏症で苦しんでいる市民もいます。道路・公用地での農薬使用、学校での対応はいかがですか。

都市整備部長 街路樹に害虫が発生した場合、省令を遵守し、必要最低限にとどめ、付近住民にも周知している。

教育部長 ワックス使用、

久米原孝子 議員

龍ヶ崎スタイルの公共交通について

議員 今年の2月に公共交通に関するアンケートを龍ヶ崎在住の18歳以上の方2千人に実施をしておりますが、結果から市民のニーズをどのように捉えましたか。

都市整備部長 市民のニーズとしては、より利便性の高い公共交通を求める声が大きいと感じています。

議員 市民のニーズをどのように取り入れていくかというアンケートであれば、民生委員さんや、長寿会の方たちに出向き、情報を聞いてくれることがすごく大事です。そして、一日も早く多くの方に喜んでいただける龍ヶ崎スタイルの公共交通にしたいかなければなりません。

市長が政策目標にしているAIオンデマンド交通ですが、交通弱者へのニーズに合った取組を具体的に、いつ、どのように

山宮留美子 議員

通学・通園バス置き去り防止対策について

議員 令和3年7月、福岡県の保育園で園児が送迎バス内に置き去りにされ、熱中症で死亡した事件がありました。二度と起きてほしくないと思っていた矢先、令和4年9月に静岡県内の幼稚園でも同様の事件が起こりました。

国は再発防止策をまとめ、令和5年4月から全国の公立小学校、幼稚園、保育園、認定こども園などの通学・通園バスを対象に、警報音等を使った安全装置の設置を義務化します。違反すれば、業務停止命令の処分を課する一方、安全装置1台あたり18万円を目安に補助を行います。更に通学・通園バスの安全マニュアルを初めて作成します。

龍ヶ崎市の通学・通園バスの安全対策についてお聞かせください。

福祉部長 小学校のスクールバスは、児童の登校の時、教職員が児童全員の降車を確認し、出欠状況を入り、スマートフォンアプリによる保護者からの連絡と教職員による点呼で児童の所在確認を行っています。運転手は、児童の送迎を終え、バスを離れる際に車内の見回りをし、児童の置き去り防止に努めています。市内幼稚園・保育園については、バス送迎にあたっての安全管理を徹底しています。市では事故の重大さを鑑み、各保育施設に国からの指示に基づき、バス送迎に当たっての安全管理に関する緊急点検を実施し、事故防止の取組の再確認と改善に努めています。

後藤光秀 議員

マスク着用の緩和について

議員 厚労省では季節を問わず屋外でのマスク着用は原則不要とし、文科省は給食時の会話も可能とした。市内小中学校、保育所等の現状を伺います。

教育部長 登下校はマスク着用の必要性がないことを伝えていますが、実際には9割以上がマスク着用をしています。文科省から基本的方針の変更等の通知があり、給食時における会話については既に緩和策を検討してほしい。

地産地消の学校給食について

議員 9月定例会ではオーガニック給食について提案しました。地元の食材をはじめ県産食材が使用された「いばつべごはんの日」が小中学校で開催され、素晴らしい取組だった。限られた地元食材の出荷量や給食費など多くの課題の中で実施できた評価を伺います。

教育部長 地産地消を学ぶ食育の学習にも繋がらる。教育委員会では大変有意義だと考えます。課題点は価格との折り合いですが、少しでも多くの地元の食材を活用した給食の提供ができるよう、今後も工夫しながら美味しい給食を提供して参りたい。

グリーントランスフォーメーションについて

大竹 昇 議員

議員 今、世界人口は80億人に達し、将来104億人と推定される。気候変動、ウクライナ侵攻による食糧危機。日本で注目されているGXとは何か、また、政府のGX投資ロードマップは如何に。

産業経済部長 GXとは再生エネルギーに転換し、経済システムや産業構造を変革させ、成長に繋げることです。温暖化による大規模な水害や森林火災対策として経済産業省は、今後10年の投資額を150兆円と試算しています。

議員 日本の食糧自給率と目標値は如何に。

産業経済部長 令和3年度の総合食料自給率38%。令和12年度までに45%を目標に掲げています。

議員 現在の耕作放棄地は、いくらありますか。

産業経済部長 2015年農林業センサスによると、292haです。

議員 耕作放棄地に谷津田があり、酒米づくりで濁酒特区に認定を受けるには、また、粉殻を活用したバイオマス農業の先進事例は。

産業経済部長 地方公共団体が構造改革特別区域を設定し構造改革特別区域計画を作成し、内閣総理大臣の認定が必要です。

富山県射水市では、産官学連携による粉殻循環プロジェクトを立ち上げ、年間約120tの粉殻処理熱でイチゴ栽培や粉殻シリカ灰を肥料に循環型農業、産業創出、所得向上に寄与しています。

議員 酒米による地域濁酒争奪戦や王者の風格「牡丹正宗」の復興、粉殻バイオマスで家畜の敷床や焼却熱による温室ハウス、子ども達が学べる体験学習・観光農園等々。SDGs未

ムダ・ムリ・ムラ行政改革の断行を！

油原信義 議員

議員 次期最上位計画となる「龍ヶ崎みらい創造ビジョン for 2030」が策定され、その中にリーディングプロジェクトが示され、子育て世代への支援メニューの提供や森林公園の再整備、AIオンデマンド交通の導入といった相応の予算を要する新しい施策も提案されています。これまで行ってきた施策や市民サービスを

維持したまま、これらの方針を進めることは財政状況や人的資源を考慮しても困難と考えます。時代の変化に応じて、行政サービスの在り方を点検し、限られた資源を効果的に配分し、効率的な行政運営を目指していくこと、つまり、行政改革に継続して取り組んでいくことの重要性がより高まっていると考えます。行政改革の原点は、ムダ・ムリ・ムラを無くしていく、ムダ

があれば廃止、ムリがあれば手法を変える、ムラがあれば効率化を図ることが重要と考えますが如何か。

市長 次期最上位計画の策定においては、今の龍ヶ崎市の人口減少・少子高齢化という大きなうねりの真つただ中におかれているという事実を認識しつつ、この波にどう立ち向かっていくべきか、このようなことを念頭に、今、必要と考えられる施策の提案に力を注いできたところです。これらの取組を限られた行政資源の中で推し進めていくためには、財政改革も含めた行政改革、とりわけ、事務事業の見直しを推進し、人材や財源など行政資源の効率的な活用を図っていくという視点が非常に重要になるものと捉えています。

掲載以外の質問項目
◆コミュニケーションパス等連行事業の再編について

ごみ処理施設の今後について

大野みどり 議員

議員 龍ヶ崎地方塵芥処理組合のごみ処理施設の更新時期と最終処分場埋立完了時期、又、ごみ処理施設を新設する場合の期間を伺う。

産業経済部長 龍ヶ崎地方塵芥処理組合の「くりんプラザ・龍」の更新時期は令和14年度、最終処分場は令和16年度に埋立完了予定です。

また、一般的にごみ処理施設の新設には概ね10年から15年を要します。

議員 現在の前のごみ処理施設「城取清掃工場」が稲敷郡新利根村上根本に建設されたのが昭和46年。昭和55年に施設の老朽化により板橋地区に移転拡張を試みるが、反対により断念。その後、検討された4地区全てを対。そして、当時の市長が直接長戸地区へ建設協力要請に出向き、板橋地区を検討、平成7年に住

民との協定書を締結。こ

こまで15年です。住民との合意は簡単ではないという事を忘れず、進めていかなければいけないと考えます。

市長 施設の重要性をご理解いただき、多大なるご協力をいただいているものと感謝しております。

地元住民の方々の距離を縮める意見交換会で、コロナ禍で開催出来ませんでした。地域の方々の協力やご理解は非常に重要と考えております。

地域の方々の声に耳を傾ける機会を設けさせていただきたいと考えております。

掲載以外の質問項目
◆移動スーパーによる買い物弱者支援について

伊藤悦子議員

補聴器購入の助成について

議員 補聴器は、高齢になっても生活の質を落とさず健やかに生活するための必需品です。市の令和6年の実施に市民からもっと早くとの要望があります。港区モデルが目されており、対象は60以上、所得制限なし、上限13万7千円の補助です。認定補聴器技能者のアフターケアが受けられ、助成金は直接販売店に払う画期的な制度です。

をお聞きします。

福祉部長 市は、単なる助成制度とならないよう高齢者の生活の質の向上を念頭におき制度設計を行います。令和6年4月から制度開始を目指します。

議員 健康診査に聴力検査を導入することについてお聞きいたします。

健康づくり推進部長 加齢性難聴の早期発見に聴力検査を健康診査に加えることは難しいです。

市の助成制度の考え方

「道の駅」の中止を求める

議員 10月に公表された再検証は「道の駅」ありきではありませんか。

市長 そのような意図はありません。

議員 日本共産党の市民アンケート「牛久沼周辺の整備について」の問いに183件のご意見があり123件が建設反対です。内

容は「道の駅に反対です」「予算をかけて早急にやるべきではない」「道の駅は不要、その経費でもっと福祉を充実してほしい」などとあります。建設費25億6100万円は生活に密着した政策に使うべきです。

建設中止を求めます。

市長 慎重に検討したい。

大野誠一郎議員

25億6100万円！

道の駅の事業費の回収は？ 不能。

議員 再検証の結果について、道の駅の事業費の認識は。又、事業費の回収はどうなりますか。負の遺産では？

市長 大変大きな負担であると認識しています。道の駅の基本方針、目的（人が集う安らぎの場、認知度アップ、地域資源の活用）が達成されれば、公共施設として整備した使命は果たされ、25億6100万円要した事業費は無駄ではない、問題ではないと考えています。

議員 公共施設としての目的が達成されれば、事業費は回収しなくてもいいという考えですか。負の遺産では？

市長 整備事業費（25億6100万円）を納付金や使用料等で回収する考え方はない。事業費の回収は考えないで、年度ごとの歳入、歳出を考えて運営をしていきます。

議員 道の駅の効果効能として挙げられるのは、農産物の直売という農業振興ですが、龍ヶ崎市の農産物類がない状態で、農産物類の売上高予定5億2千万円の対応について「再検証の結果」は？

市長 道の駅の整備をこれからどうするか決めていくので、まだそういった話にはなっていない。道の駅をつくと判断が出来れば、いろんな農業団体をはじめ、協議をして連携を出来る体制づくりをしていきます。

議員 道の駅をつくるという事になってから、協議をしていく。とんでもないことです。

掲載以外の質問項目

◆「龍ヶ崎市駅」駅名改称の目的、効果についての検証は、どのようになされているか

◆「牛久沼」の水質改善について

防災・減災

議員 コロナの影響を踏まえた防災・減災の課題と対策について見解を。

危機管理監 避難所における感染症対策が大きな課題。感染症対策物品の備蓄を整え、避難所運営マニュアル、感染対策編を策定した。

議員 防災マニュアル、地域防災計画などを時代に合わせ更新し、それを地域に落とし込み、浸透させていくことが大切。

防災士や自主防災組織への支援体制の強化など地域と連携した取組を継続的に進めるように！

デジタル格差解消、スマートフォン普及とともに、防災アプリの活用が防災対策に有効。例えば、安否確認、要支援者の情報登録など、新たな機能の導入も含めて、もっと防災アプリを普及、活用していくべきと考える。当市の見解を。

より多くの市民が利用できる普及活動を実施したい。新たな機能についても市民の皆さまのご意見を伺いつつ、効果的な機能、活用方法などを研究し、身近で、より良い防災アプリの機能充実を目指す。

岡部賢士議員

龍ヶ崎市防災情報発信アプリ
防災龍ヶ崎



© 龍ヶ崎市

掲載以外の質問項目

◆冠水対策

◆誰一人取り残さない、人に優しいデジタル化

山村 尚 議員

道の駅整備事業の再検証について

議員（仮称）イオンモーター取手開発計画に関する当市の認識は。

市長公室長 「令和5年度の都市計画決定を目指し関係機関と協議を進めている」とのことです。

道の駅と物販機能で競合するところもあります。整備内容が不明確なため、その影響を推し量ることは難しい状況です。特徴ある施設運営ですみ分けに努めることが肝要と考えます。

議員 「牛久沼の景観を生かした土地活用のビジョンをどのように持ち、どのようにに活用するのか」市民の関心はここにあると感じます。「公園整備を行い、他と差別化した利活用」との多くの意見を聞く中、次のステップは二次アンケートを実施し、選択肢に「広場を整備し利活用」を加え、それぞれのビジョンを示すべきでは。また、

利活用案は市民公募してはと考えるがいかがか。

市長公室長 今回アンケートでは、道の駅整備について感じていることや、にぎわいづくりに必要ない取組等も伺っているのイメージをくみとって

業者、商工会等関係団体からも意見を聞いており、議員提言、アンケートもふまえ市長が判断します。よって、2回目アンケートの実施予定はありません。

ビジョンについては予定地を活用すると市長判断がされた際はそれをお示ししたいと考えます。

議員 一度きりのアンケートでビジョンを示さず、「この情報だけで回答してください」はいかがなものか。重要な局面で市民の意見を聞くことが「市民とつくる龍ヶ崎の新时代」ではないでしょうか。再度の検討をお願いします。

加藤 勉 議員

まちなか再生への取り組みについて

議員 ここ数年の間に龍ヶ崎商店街通りの空き店舗が壊され、専用住宅に建て替えられる場面によく出くわします。商店街から住宅街へと変化の兆しが感じられます。市では、令和2年3月にまちなか再生プランを策定して

ますが、現在の状況をどのようにに認識されているのか。産業経済部長 現状は、空き家、空き地が点在し、高齢化や地区外への人口流出等により賑わいを失いつつあり、近年の社会情勢に対応したまちづくりを進める必要があると認識しています。

議員 萩原市長が考えるまちなか再生への取組方針を伺いたい。

市長 再生プランに定めたエリアは、長い歴史の中で文化、伝統を育んできた本市の顔です。しかし、少子高齢化や社会経済状況の変化等により、過去

のよう賑わいを生み出すことは課題が多いです。今後は、市民ニーズを把握し、既存の商店街や歴史的資源を生かした、住む人にとって暮らしやすく、訪れる人が魅力を感じる都市拠点の形成を目指したい。

議員 市長の答弁を聞いても、市が具体的にどのような再生事業を展開されるのか、分かりにくいと感じます。商店街は誰のものか、何故再生して活性化しなければならぬのか、商店街は今後、どういった役割を担うのか、こういった本質の議論が足りないことが再生プランの分かりにくさに繋がっているのではないのでしょうか。

私は、まちなか再生と竜ヶ崎線の存続は一体と捉えているので、「鉄道と建築物などの歴史的資源を生かしたまちなか再生」をコンセプトに、再生事業を進めることを提案します。

櫻井速人 議員

小学児童の登下校の安全対策について

議員 2022年度複数回、園児、児童を狙った誘拐予告メールがありました。幼稚園バスの安全装置の設置義務が2023年4月より施行されますが、自らの足で通学する小学生児童の登下校環境は学校、地域で様々であり、児童を送り出す、または帰りを待つ家庭環境も時代背景を受け、様々な中で大人の手を借りて安全のサポートがなされておりますが、ICTツールによる登下校の見守りを導入し、児童がいかなる状況でも、親御さんがどのような状況下においても確認でき、安心できる子育て環境の強化を検討していただきたいと考えますが、いかがでしょうか。

例の認識をしております。本年度は学校と保護者の連携アプリを導入し、利用が浸透してきている状況であります。登下校の安全対策を補完するICTタグについては、一定の効果が期待できますが、費用対効果の検証が必要と考え、現時点では保護者、地域の方の見守り活動を継続していきたいと考えます。

◆認定こども園、幼稚園、保育園等の通園バス安全装置義務化に伴う市内該当施設の現状について

◆学校教育下におけるマスク着用の任意化と給食時の黙食の見直しについて



▲保護者が安心できる子育て環境の強化を

◆掲載以外の質問項目

後藤 敦志 議員

隠れ教育費、保護者負担の軽減を

議員 憲法26条には、「義務教育はこれを無償とする」と規定されていますが、実際には保護者の金銭的な負担は大きく、近年、隠れ教育費と呼ばれています。そこで、当市の小・中学校において保護者が負担する学校教育費をお聞かせください。

教育部長 小学校は、児童1人当たり6年間で龍ヶ崎小26万4千円、大宮小27万9千円、八原小22万3千円、馴染小24万5千円、川原代小26万6千円、龍ヶ崎西小24万2千円、松葉小23万円、長山小22万千円、駒馬台小23万6千円、久保台小22万9千円、城ノ内小23万円です。中学校は、生徒1人当たり3年間で龍ヶ崎中27万2千円、長山中27万2千円、城西中28万8千円、中根台中26万4千円、城ノ内中26万7千円です。(修学旅行費やPTA会費、教材費など学校にお

ける徴収金を基に算出)

議員 同じ市内の小中学校なのに、学校が違つと保護者の負担が6万円弱も違うことを是正し、その金額を下げる必要があると思います。保護者の負担軽減を図るため海老名市では利用頻度の少ない彫刻刀や柔道着を学校からの無償貸与としています。他にも算数セット等、利用頻度が少なく必ず個人に買わせる必要のないものについては、極力学校の備付けとして、これは結果として持ち物の軽減にもつながっていくと思っております。取組をお願いします。

掲載以外の質問項目

◆龍ヶ崎市まちづくり基本条例と住民投票について
◆行政手続の簡素化について
◆ランク指定一般競争入札における落札率について

椎塚 俊裕 議員

教育ICTと部活動の

地域移行の本質は

議員 コロナ禍の急激な教育のICT化、学校通信環境は、全員が一斉に接続すると通信障害を起こすことから、安定したネットワーク環境は、端末機器の活用に必要な課題ですが通信環境の状況を教えて下さい。

教育部長 主に大規模校でネット回線の帯域不足が疑われることから、回線の変更による検証を行い、検証結果を踏まえ、全学校で通信環境の改善を図る。

今後、クラウド環境でデジタル教科書の利用や学習eポータル運用など、学校の通信環境の安定化がより重要です。今後も通信環境の安定に向けて様々な対応を行います。

議員 来年度から始まる部活動の地域移行に対して、教員の働き方改革について関係性をどのように

に考えていますか。
教育部長 教育委員会として、部活の地域移行により教員が生徒一人ひとりに向き合う環境を整え、教員の本務である学習指導の充実や豊かな人間性の育成に努め、生徒たちのキャリア形成を支援できるよう部活動の地域移行に取り組んでまいります。

議員 教育ICTも、部活動の地域移行も教員の働き方改革の本質は、教師と子どもが自由な時間を取り戻すために行うべきものです。



▲教師と子どもが自由な時間を取り戻すための取組

意見書を提出しました

龍ヶ崎市議会は、令和4年12月22日付で下記の意見書を国や県に提出しました。

令和4年意見書第1号

加齢性難聴者の補聴器購入に対する助成制度の創設を求める意見書

令和4年意見書第2号

県が茨城県南水道企業団との契約水量を、使用実績に合わせることを求める意見書

※意見書の内容は、市議会ホームページに掲載しています